

戦間期のイスタンブルにおける日本の経済活動(1)

—コンスタンチノーブル日本商品館（イスタンブル日本商品館）に関する研究—

三 沢 伸 生

1. はじめに

近年、これまで日本の中東・イスラーム研究において看過されてきた戦前・戦中期における日本の「回教政策」を見直す研究プロジェクトが活発に行われている。そうしたなかで「回教政策」の展開において、日本とイスラーム世界との関係に大きな契機をもたらしたアブデュルレシド・イブラヒムの活動、亡命タタール人たちの動向、1938（昭和13）年に建設された東京回教堂（東京モスク）をはじめとする国内における様々な施策が研究対象とされてきている。さらに中国を中心に東アジアにおける政策の実態がさまざまに研究されてきている。同様に、東南アジア諸国における政策も研究課題として組上にあげられつつある。

しかしながら、イスラーム世界の中核をなす中東地域において日本がいかなる政策を展開してきたのかという研究はほとんどなされてきていない。わずかにメッカ巡礼にかかわる研究や関係者の自伝的回顧録がいくつかみられるものの、「回教政策」の観点から研究するものは皆無に等しい状況である。イスラーム世界における伝統的秩序規範を、日本がどのように認識してきていたのかを継続的に考察する場合、東アジア・東南アジアばかりでなく、中東地域を対象に研究を進めなくてはならない。

明治維新以降、イスラーム世界との接触を始めた日本は、戦前期において政府・民間の双方によって、中東地域に拠点を構えて情報を収集し、様々な活動を展開していたのである。

そうしたなかであって、カイロに開設されたカイロ日本商品館（1928～1937年）、イスタン

ブルに開設されたコンスタンチノーブル日本商品館（後に改称されてイスタンブル日本商品館）（1929～1937年）という2つの商品館は中東における経済活動の拠点として極めて重要な存在であった。

本稿では、特に後者のコンスタンチノーブル日本商品館（および、改称後のイスタンブル日本商品館）について、同館より刊行されていた『コンスタンチノーブル日本商品館館報』（後に改称にともない『イスタンブル日本商品館館報』）およびパンフレット類を主たる史料として分析を行いながら、その経済活動について研究していくものである。

2. 開設の経緯

1929（昭和4）年9月1日、コンスタンチノーブル日本商品館は^①、イスタンブルの中心地に位置するガラタ橋畔に面しているカラキョイ（Karaköy）地区の一等地に開設された。賃借ではあったものの、4階建ての建物に10部屋の陳列室を有する威容を誇った。

館長にはインドネシアのスラバヤ日本商品館館長の経験を買われて、安江安吉が就任し、ほかに館長代理の阪東主事、外山館員の日本人スタッフを擁していた。

潤沢な資金を投ずることができたのも、設立母体が商工省であったからである。

トルコ共和国の前身たるオスマン帝国と日本との間には、正式な外交条約が締結されることはなかった。1924年、第一次世界大戦の戦勝国として日本は新生トルコ共和国との間に、ローザンヌ条約を締結し、ここに両国の間に初めて外交関係が樹立された。1925年3月23日にイス

タンブルに日本大使館、同年7月7日に東京にトルコ大使館が開設されると、日本側は貿易振興のためにトルコへの接近を模索していた。

同時期、民間でも新生トルコ共和国に対して新たな経済機会を見出した大阪商工会議所会頭たる稲畑勝太郎は、1925（大正14）年、大阪商工会議所内に日土貿易協会を設立した⁽²⁾。稲畑は会長に就任したものの、実際に協会の運営面では長年イスタンブルの中村商店において雇用されていた山田寅次郎が理事長として中心的な役割を果たしていた⁽³⁾。

山田はトルコへの接近を図るために、忘却されていた「エルトゥールル号事件」の記憶を掘り起こし利用した。事故現場である和歌山県東牟婁郡大島では十年祭、廿年祭が村役場によってひっそりと挙行されていた。しかし区切りの年でもない、また遭難の日でもない1928（昭和3）年8月5・6日、日土貿易協会は中央政府の協力をとりつけながら自らの主催により大規模な追悼祭を挙行し、翌1929（昭和4）年には追悼碑を建立した。加えて、同年6月3日に昭和天皇の行幸も実現された⁽⁴⁾。

こうした官民あげてのトルコへの接近策が実を結び、同年7月1日に日土通商条約が仮調印され、翌1930（昭和5）年10月11日に正式調印されるに至った。

以上のような経緯から、商工省は早くも1928（昭和3）年9月12日にイスタンブルに、コンスタンチノーブル日本商品館を設けることを決して、その経営を日土貿易協会に委嘱するすこととして開設準備を進めて、上記のように開館に至ったのである⁽⁵⁾。

その後、1932（昭和7）年6月1日に日土貿易協会は近東貿易協会へと名称を変更した。また機関誌上には事情が記されていないが、翌1933（昭和8）年7月に機関誌の名称が変更されていることから、これ以前に館の名称が、コンスタンチノーブル日本商品館からイスタンブル日本商品館へと変更されたものと思われる。

一方、閉館の事情は今後の研究課題であるが、1937（昭和12）年9月以降に、イスタンブル日本商品館は閉館に追い込まれた。

3. 開設の背景

コンスタンチノーブル日本商品館の開設にはさらに時代をさかのぼって今ひとつ重要な背景が存在する。

それは稲畑に接近して、日土貿易協会を設立させ、理事長として実質的な中心的役割を演じた山田寅次郎の存在である。

山田に関しては様々な著作とメディアを通して伝説的に語られているが、山田の行動理念の中心に商人として経済活動があることが忘れられがちである。近年、幸田露伴研究のなかから、山田の商人としての基本的性格を非常に明確にするものが現れてきた⁽⁶⁾。山田は、貿易起業を目的にして1892（明治24）年4月にイスタンブルに到来した。その後何度か帰国をしたものの、1914（大正3）年に第一次世界大戦が勃発して、勤務していた中村商店が閉店してイスタンブルから日本への帰国を余儀なくされるまでの長年、中村商店に仕えながら貿易業に関わってきた。

1891（明治24）年に「エルトゥールル号事件」の生存者を送還するために派遣された日本軍艦の比叡と金剛に便乗して、オスマン朝に自社の集めた義捐金4,248円97銭5厘の為替を手渡しすべくイスタンブルへと渡った『時事新報』記者の野田正太郎は、その1年4ヵ月後に確たる算段なしに無謀なままにイスタンブル到来を果たした同胞である山田を助けて、その目的である貿易業開始を実現させた⁽⁷⁾。しかし山田は資金不足により貿易業の継続が困難となると、1896（明治29）年、日本へ帰国し、大阪で出資者を募り、これに応じた中村一族によりイスタンブルに中村商店が設けられ、同商店の雇用人となったのである⁽⁸⁾。

しかしながら山田は一雇用者としての立場に満足しなかった。

明治時代に、農商務省商工局によって編纂された『農商務省商工局臨時報告』という公刊文書のうち、明治36（=1903）年第1冊において、「明治35年10月在コンスタンチノーブル私設商品陳列所報告」として「土耳其貿易概況」と題

した13頁分の報告書が所収されている。そして以後、1908（明治41）年まで2年数ヶ月の間だけであるが、次のように合計9回にわたり農商務省商工局に宛てられたコンスタンチノーブル私設商品陳列所報告が所収されている。以後は送付がなかったのか、公刊報告書に所収されなかったのかは不明である。しかし最後の2回の記述量から判断して、閉所ないしは農商務省との関係が切れたものと判断される。

- ① 明治35年10月在コンスタンチノーブル私設商品陳列所報告「土耳其貿易概況」『農商務省商工局臨時報告』明治36年第1冊，1903年，48-60頁。
- ② 明治36年1月君士坦丁堡府私設商品陳列所報告「君士坦丁堡府私設商品陳列所」『農商務省商工局臨時報告』明治36年第5冊，1903年，61-73頁。
- ③ 明治36年4月在君士坦丁堡府私設商品陳列所報告「君士坦丁堡府私設商品陳列所報告」『農商務省商工局臨時報告』明治36年第9冊，1903年，65-75頁。
- ④ 明治36年12月在君士坦丁堡府私設商品陳列所報告「サロニカ港視察一班」『農商務省商工局臨時報告』明治37年第2冊，1904年，21-27頁。
- ⑤ 明治36年9月報告「君士坦丁堡府私設商品陳列所ノ状況」『農商務省商工局臨時報告』明治36年第12冊，1904年，37-48頁。
- ⑥ 明治37年2月在君士坦丁堡府私設商品陳列所報告「君士坦丁堡府私設商品陳列所報告」『農商務省商工局臨時報告』明治37年第5冊，1904年，125-137頁。
- ⑦ 明治37年10月在コンスタンチノーブル私設商品陳列所報告「土耳其ニ於ケル本邦品ノ需要」『農商務省商工局臨時報告』明治38

年第1冊，1905年，61-70頁。

- ⑧ 在コンスタンチノーブル私設商品陳列所報告「土耳其ニ於ケル本邦品ノ好評 付模造日本品」『農商務省商工局臨時報告』明治38年第1冊，1905年，107-108頁。
- ⑨ 在君士坦丁堡府私設商品陳列所報告「土耳其ニ於ケル各國製茶並ニ臺灣紅茶ニ就テ」『農商務省商工局臨時報告』明治41年第1冊，1908年，67-69頁。

この時期に、日本とオスマン朝との間に外交関係は締結されていないが、これらの報告には同館が農商務省保護の下に1903（明治36）年1月に開所した旨記載されている。当時、イスタンブルにおける日本商店の存在は中村商店しか現在のところ確認されていない。経緯不明であるが、何らかの理由で中村商店が農商務省と連絡をつけて、私設商品陳列所を兼ねたものと推測される。そうであるならば、執筆者は中村一族からイスタンブルに派遣された中村健次郎、もしくは山田寅次郎であるものと推測される。確証できる史料は見出せないが、中村商店が第一次世界大戦に際してイスタンブルから撤退して二度とトルコと関わらなくなることと、後の山田の行動を比較するならば、本報告書の執筆は山田の筆になるものではないかと推測される。

もしそうであるならば、失意のままに帰国を余儀なくされた山田が、日本とトルコの間外交関係樹立に好機を見出して、大阪商工会議所と商工省とに積極的に接近を図り、私設商品陳列所ではなく、今度は公的な日本商品館の樹立を契機にして、トルコを舞台とした貿易業再開を目指したものと理解される。

4. 機関誌『コンスタンチノーブル日本商品館館報』／『イスタンブル日本商品館館報』

コンスタンチノーブル日本商品館は、開設後しばらくして1930（昭和5）年4月から機関誌『コンスタンチノーブル日本商品館館報』の刊行を始めた。

前述のように、館名の変更に伴って、1933（昭和8）年7月刊行の第40号から名称を、『イスタンブル日本商品館館報』へと変更し、1937（昭和12）年9月刊行の第90号まで計90冊が刊行された。

戦後において、戦前に閉館されたコンスタンチノーブル日本商品館（イスタンブル日本商品館）の存在が忘れ去られてしまったように、本誌の存在も長らく確認されないままに放置されていた⁹⁾。近年、国立情報研究所（NII）による全国の大学・研究機関に所蔵されている雑誌の電子目録化が急速に進んだこと、また同様に民間機関も所収資料の公開を推進してきたことによって、本誌を所蔵する機関が国立国会図書館以外にも複数存在することが判明している。管見の限り、国内の3つの機関、すなわち大阪商工会議所所蔵分を寄贈された大阪市立大学付属図書館、東京商工会議所経済資料センター、日本大学経済学部付属図書館においてあわせれば全90冊が現存することを、全て現物で確認した。筆者はすでに全90冊の複写収集を完了して、内容分析に着手している。

一瞥して、本誌に含まれている膨大な情報量に驚かされる。山田寅次郎のように直接に同館の運営に関わった人物ばかりでなく、芦田均、笠間杲雄といった戦前・戦中期の「回教政策」の重要人物たちの叙述も含まれている。

今まで看過されてきた戦間期あるいは戦前期の中東地域における日本の「回教政策」の詳細を知る上において第一級の史料である。それでも情報は断片的であり、それに符合・補完させるべき関連史料や2次史料の探索には相当の時間と労力とを要するものと思われる。

そこで本稿では、本誌の分析を継続しながらも、まずは広く本誌の重要性を伝えるべく、同時に並行して所収目録の作成・公開を進めていく。

以下、紙片の都合もあり、本号では、まず第1号から第16号までの目録を掲載する。

目録では、号数、刊行年月日、著者（無署名は多くは館の記述と判断してもよい。また「～報告」は「報告」を省いて著者とし、職名も省

かない）、小見出しに準拠した分類（「口絵写真」と「囲み記事」は筆者の命名）、表題、頁数を記した。なお目次と広告とは対象から外した。（この項続く）

※本稿は、東洋大学学術推進センター・研究所間プロジェクト研究助成金に基づく、研究課題「イスラーム世界における伝統的秩序規範の持続と変容」【拠点：東洋大学アジア文化研究所・現代社会総合研究所、研究代表者：後藤武秀、平成17～19年度】の研究成果の一部である。

<註>

- (1)同館は、フランス語訳名として、“Musée commercial du japon”を、またトルコ語名として看板の記述から“Japon Ticaret Sergisi”を用いていたことが知れる。またローマ字表記によれば、日本館は“Nipponkan”ではなく、“Nihonkan”と発音されていたようである。
- (2)木村昌人「稲畑勝太郎と日土民間経済外交」池井優・坂本勉（編）『近代日本とトルコ世界』慶應義塾出版会、1999年、102-129頁。
- (3)山田寅次郎については、とりあえず長場紘「山田寅次郎の軌跡」『上智アジア学』14号、1996年、41-60頁。昨今、山田は各種メディアに取上げられるが、本人の短い追憶録・友人の筆になる評伝のみに依存した不確かで伝説的な評価が横行する。山田の活動とくに商人としての経済活動については、後述の註(6)を参照。
- (4)「エルトゥールル号事件」については、中央防災会議災害教訓の継承に関する専門調査委員会（編）『1890エルトゥールル号事件報告書』、東京：中央防災会議災害教訓の継承に関する専門調査委員会、2005年3月。
- (5)無署名「コンスタンチノーブル日本商品館開設経緯概要」『コンスタンチノーブル日本商品館館報』1号、3頁。
- (6)出口智之「幸田露伴と山田寅次郎」『日本近代文学』74集、2006年、77-91頁。山田の友人である幸田露伴によって描かれる「書生商人」たる山田像は従来の伝説を大きく裏切り打破するものである。小説であるとの留保は幾分存在しようが、筆者の野田正太郎に関する研究成果とも符合する内容（註(7)参照）を有し、山田の実像である蓋然性が極めて高いと考えられる。

- (7)野田、さらに野田と山田との接点については、拙稿「1890～1893年における『時事新報』に掲載されたオスマン朝関連記事：日本初のイスラーム世界への派遣・駐在記者たる野田正太郎の業績」『東洋大学社会学部紀要』41-2，2004年，109-146頁。また山田がイスタンブルに持参した義援金の詳細は本人が明確に書き残していないので不明な点が多い。エセンベルは約5,000円とするが根拠を明示していない（セルチュク・エセンベル「世紀末イスタンブルの日本人」『近代日本とトルコの世界』77頁）。しかしイスタンブルの海軍博物館に展示される遺族救済委員会が発行した山田宛の領収書（財務暦1308年5月26日＝西暦1892年6月7日付け）には、オスマン朝の通貨で1,823クルシと記載されている。この金額は、その約1年前に日報社と毎日新聞社によって送金された義援金の円＝クルシ換算をそのまま適用して換算すると、約96円91銭と計算される。この金額は日本からの義援金総額の2%未満にとどまるものである。
- (8)中村商店については、未解明の課題が山積している状況である。現状ではとりあえず中村一族の基本レファレンス情報について、坂本勉「山田寅次郎とトルコ・タバコ」三笠宮米寿記念論集刊行会（編）『三笠宮米寿記念論集』刀水書房，2004年，381-391頁。
- (9)木村は「実物は現在のところ残存していない」（木村，前掲，128頁，註35）と記しているが、管見の限り、少なくとも1985年以前から国会図書館に全冊ではないが数十冊が存在することは日本のトルコ研究者たちの間では充分に知られていた。

『コンスタンチノーブル日本商品館報／イスタンブル日本商品館報』記事総索引（第1号～第16号まで）

号	刊行年月日	著者	分類	表題	頁数
01	1930/4/25	無署名	口絵写真	ムスタファ・ケマルパシヤ閣下、稲畑勝太郎氏、山田寅次郎氏	口絵
01	1930/4/25	無署名	口絵写真	コンスタンチノーブル日本商品館	口絵
01	1930/4/25	無署名	口絵写真	陳列の一部	口絵
01	1930/4/25	稲畑勝太郎		発刊の辞	1-2
01	1930/4/25	無署名	時事	コンスタンチノーブル日本商品館開館経過概要	3-6
01	1930/4/25	芦田均	講演	最近の土耳其事情	7-21
01	1930/4/25	無署名	資料	土耳其の棉花生産状況に就て	22-24
01	1930/4/25	無署名	資料	土耳其市場に於ける米國製ドリルと伊、到國製カーキドリルの状況	25
01	1930/4/25	無署名	資料	麥精眞田の需給に關して	25
01	1930/4/25	無署名	資料	ハンカチーフを土耳其へ輸入するに就て	25-26
01	1930/4/25	無署名	資料	土耳其向き輸出品の中味包装にボール紙を使用するは不利なり	26-27
01	1930/4/25	無署名	資料	土耳其向原産地證明並査證に關する注意	27-28
01	1930/4/25	在トルコ本商務書記官	資料	ギリシヤとの取引方法及注意事項	29-35
01	1930/4/25	無署名	資料	パレスタインに對する我國製品の販路擴張について	36-37
01	1930/4/25	無署名	資料	土耳其に於ける捺染綿ネルの需給状況と我國製品に對する希望	37-44
01	1930/4/25	無署名	資料	スタンブールに於ける主たる綿布取扱業者商號住所	45-47
01	1930/4/25	無署名	囲み記事	バルカン貿易に關する注意	47
01	1930/4/25	無署名	資料	土耳其輸出入表（1928年度）	48
01	1930/4/25	無署名	資料	土耳其國輸入關稅率表（其一）	49-53
01	1930/4/25	無署名	資料	コンスタンチノーブル日本商品館出品者名及出品物品目表（其一）	53-59
01	1930/4/25	無署名	彙報	出品手續并に注意	60-61
01	1930/4/25	無署名	彙報	土耳其荷造並にインボイスに關する注意	61-65

01	1930/4/25	無署名		囲み記事	土耳其古商の建値に就て		62
01	1930/4/25	無署名		彙報	社團法人日土貿易協會定款		66-68
01	1930/4/25	無署名		彙報	日土貿易協會		68
01	1930/4/25	無署名		彙報	「コンスタンチノーブル」日本商品館規程		68-70
01	1930/4/25	無署名		彙報	「コンスタンチノーブル」日本商品館出品規則		70-71
02	1930/5/25	無署名		口絵写真	高松宮同妃兩殿下大阪築港御上陸		口絵
02	1930/5/25	無署名		口絵写真	館内陳列の一部		口絵
02	1930/5/25	無署名		時事	高松宮殿下奉迎		1
02	1930/5/25	無署名		時事	商品館の奉迎準備		1
02	1930/5/25	無署名		時事	佛文エルトグロール號遭難追悼記		1-2
02	1930/5/25	無署名		時事	輸出補償法案の通過		2-3
02	1930/5/25	無署名		時事	全國特産品陳列大會		3
02	1930/5/25	コンスタンチノーブル日本商品館		資料	土耳其に於ける日本商品需給状況		4-14
02	1930/5/25	無署名		資料	近東方面に於ける鯨の子(筋子)の需給状況		15-18
02	1930/5/25	無署名		資料	土耳其に於ける絹織物の需給状況と我國製絹織物の進路		18-43
02	1930/5/25	無署名		資料	土耳其に於ける建築用タイルの需給状況		44-47
02	1930/5/25	無署名		資料	土耳其に於けるカタン絲の輸入状況		48-52
02	1930/5/25	無署名		資料	日本製ゴム紐の強韌度に對する欠點		52-55
02	1930/5/25	無署名		資料	土耳其向き人絹交織品に對する注意		55-56
02	1930/5/25	無署名		資料	土耳其に於ける無地染單絲五枚朱子の需給状況		56-62
02	1930/5/25	笠間泉雄		資料	ペルシヤ東北部地方經濟事情		62-68
02	1930/5/25	無署名		取引	コンスタンチノーブル日本商品館仲介取引(其一)		69-72
02	1930/5/25	無署名		取引	佛領亞弗利加に日本品の開拓希望		72

02	1930/5/25	無署名	彙報	日本製絹張日傘を土國に輸入するが為に取る可き方法	73-74
02	1930/5/25	無署名	彙報	土耳其に於ける日傘並に雨傘に對する輸入税の改訂	74-75
02	1930/5/25	無署名	彙報	土耳其向コツピー紙に就て	75-76
02	1930/5/25	無署名	彙報	土耳其に於ける時計、眼鏡の輸入數量、金額、税金、並に君府に於ける其の取扱商	76-80
02	1930/5/25	無署名	彙報	本邦製捺染モスリンは土耳其にて有望なり	80-81
02	1930/5/25	無署名	彙報	土耳其に於ける Gum Tragacanth の輸出状況	81-84
02	1930/5/25	無署名	彙報	土耳其に於ける魚網用絲及魚網	84-85
02	1930/5/25	無署名	彙報	土耳其に輸入す可き魚網用鋼絲の建値につき	85-86
02	1930/5/25	無署名	彙報	我國製レース絲を土耳其方面に輸入するにつき	86-87
02	1930/5/25	無署名	彙報	シヤープベンシルに關する土耳其關稅率	87-88
02	1930/5/25	無署名	彙報	中味包装用ボール紙製に對する輸入税	88
02	1930/5/25	無署名	彙報	露國製品の土耳其躍進	88-89
02	1930/5/25	無署名	彙報	輸出補償邦の通過	90-91
02	1930/5/25	無署名	彙報	土耳其國輸入關稅率表(其二)	91-97
02	1930/5/25	無署名	彙報	コンスタンチノーブル日本商品館取扱依頼事項	98
02	1930/5/25	無署名	彙報	コンスタンチノーブル日本商品館出品者名及出品物品目表(其二)	98-100
03	1930/6/25	無署名	口絵写真	土耳其國スミルナ港	口絵
03	1930/6/25	無署名	口絵写真	本館陳列の一部	口絵
03	1930/6/25	無署名	口絵写真	希臘國サロニカ市街、希臘國サロニカ港	口絵
03	1930/6/25	無署名	口絵写真	一九二九年希臘サロニカ國際見本市全景、一九二九年希臘サロニカ國際見本市日本館	口絵
03	1930/6/25	無署名	時事	土耳其名譽領事の更任	1
03	1930/6/25	無署名	時事	サロニカ國際見本市	1-2

03	1930/6/25	無署名		時事	土耳古國工業製品見本博覽會	2-3
03	1930/6/25	無署名		時事	山田理事長の講演	3
03	1930/6/25	コンスタンチノーブル日本商品館	資料	資料	土耳古に於ける日本商品の需給状況	4-8
03	1930/6/25	無署名		資料	土耳古に於ける羅紗織物類の需給状況	8-11
03	1930/6/25	無署名		資料	土耳古國輸入關稅率表(其三)	11-16
03	1930/6/25	無署名		資料	商工省大阪事務所名の改稱	16
03	1930/6/25	無署名		資料	貿易週報の發行	16
03	1930/6/25	無署名		取引	コンスタンチノーブル日本商品館仲介取引(其二)	17-18
03	1930/6/25	無署名		彙報	トルコに於ける原産地證明規則	19-20
03	1930/6/25	無署名		彙報	土耳古に於ける石油鑛	20-22
03	1930/6/25	コンスタンチノーブル駐在本商務書記官	彙報	彙報	トルコの外國貿易状況	22-32
03	1930/6/25	無署名		彙報	第五回サロニコカ國際見本市出品要項	33-36
03	1930/6/25	無署名		彙報	第五回サロニコカ國際見本市概要	36-37
03	1930/6/25	無署名		彙報	参考 昭和四年度のサロニコカ見本市(第四回)成績概要	38-39
03	1930/6/25	在ミラン井上領事	彙報	彙報	トルコに於けるイタリーの經濟的進展	39
04	1930/7/25	無署名		口絵写真	土耳古國首府アンゴラの新市街, 土耳古舊雜宮ドルマ・パクチャエ宮殿	口絵
04	1930/7/25	無署名		口絵写真	本館陳列の一部	口絵
04	1930/7/25	無署名		口絵写真	スタンブール市ガラタ橋畔連絡船波止場, ガラタ橋畔エニジヤミ前	口絵
04	1930/7/25	無署名		時事	貿易懇談會	1
04	1930/7/25	無署名		時事	第五回商工省輸出品包裝展覽會	1
04	1930/7/25	無署名		時事	サロニコカ國際見本市	1-2
04	1930/7/25	トルコ駐在商務書記官	資料	資料	トルコ貿易額(一九二九年度)	3-5
04	1930/7/25	コンスタンチノーブル日本商品館	資料	資料	土耳其に於けるコルク製靴底敷布の需要と其の代用品に就て	6-7

04	1930/7/25	在希國川島公使	資料	一九二九年希臘綿糸布輸入額	7-8
04	1930/7/25	無署名	資料	土耳其國輸入關稅率表(其四)	9-14
04	1930/7/25	無署名	取引	土耳其產薔薇香油取引希望	15
04	1930/7/25	コンスタンチノーブル日本商品館	彙報	土耳其に於て需要せらるる麻ホースの状況	15-16
04	1930/7/25	在テヘラン三橋貿易通信員	彙報	波斯宛印刷物及出版物郵送注意	16
04	1930/7/25	在トルコ本商務省書記官	彙報	トルコ國立汽船會社のエジプト定航開始	16-17
04	1930/7/25	在トルコ本商務省書記官	彙報	トルコ貨幣保護法令一部改正	17
04	1930/7/25	在トルコ本商務省書記官	彙報	トルコの砂糖及石油並輕油專賣法廢止	17-18
04	1930/7/25	無署名	彙報	第五回國際見本市出品表	18-24
04	1930/7/25	無署名	彙報	第五回商工省油主賞包裝展覽會規程	25-27
05	1930/8/25	無署名	口絵写真	土耳其スタンプール市中住宅區域シシリ一街, 土耳其スタンプールセントソフィア寺院	口絵
05	1930/8/25	無署名	口絵写真	商品陳列の一部	口絵
05	1930/8/25	無署名	時事	日土通商航海條約正式取極	1
05	1930/8/25	大阪時事新報	時事	土耳其に二大政黨出現せん	1-2
05	1930/8/25	大阪時事新報	時事	土波關係緊張	2
05	1930/8/25	無署名	時事	首席主事選任に付認可申請	2
05	1930/8/25	無署名	時事	善積本會理事の渡歐	2
05	1930/8/25	無署名	時事	大阪輸出協會巴爾幹派遣員決定	2-3
05	1930/8/25	無署名	時事	原田新任主事の赴任	3
05	1930/8/25	無署名	時事	山田理事長及長谷川主事の渡歐	3
05	1930/8/25	無署名	時事	貿易懇談會開催	3
05	1930/8/25	無署名	時事	土耳其國土木大臣の來館	4-5
05	1930/8/25	コンスタンチノーブル日本商品館	資料	土國に於て有望なる日本製子供用三輪車	6-7

05	1930/8/25	無署名	資料	トルコに於ける綿糸布紡績概況	7-10
05	1930/8/25	在トルコ本商務省書記官	資料	トルコ中央銀行法案	10-13
05	1930/8/25	外務省通商局	資料	トルコの鐵道状況	13-19
05	1930/8/25	在テヘラン三橋貿易通信員	資料	波斯經濟界近況	20-23
05	1930/8/25	無署名	資料	一九二八年度スミルナ港(土耳其)輸出台	23-26
05	1930/8/25	無署名	資料	土耳其國輸入關稅率表(其五)	27-32
05	1930/8/25	コンスタンチノーブル日本商品館	資料	トルコに於ける輸入業者に關する參考調(其一)	33-48
05	1930/8/25	無署名	取引	コンスタンチノーブル日本商品館仲介取引	48
05	1930/8/25	無署名	彙報	コンスタンチノーブル日本商品館取扱依頼事項	49
05	1930/8/25	無署名	彙報	輸出補償法施行細則公布	49-59
06	1930/9/25	無署名	口絵写真	スタンププール・ガラタ埠頭	口絵
06	1930/9/25	無署名	口絵写真	本館陳列ノ一部	口絵
06	1930/9/25	無署名	口絵写真	セントソフィア寺院内部、渡歐出發に際し大阪驛頭に於ける山田理事長一行	口絵
06	1930/9/25	コンスタンチノーブル日本商品館	時事	土耳其綿糸布商懇談會の開催と其利用方法につき	1-8
06	1930/9/25	無署名	時事	第五回サロニカ國際見本市近況	9
06	1930/9/25	無署名	時事	首席主事選任認可	9
06	1930/9/25	無署名	時事	本會主催貿易懇談會に就て	9-10
06	1930/9/25	無署名	時事	山田理事長、長谷川主事及原田主事夫妻の發着	10
06	1930/9/25	無署名	時事	サロニカ見本市の第二信	10
06	1930/9/25	無署名	囲み記事	希臘國稅率	10
06	1930/9/25	無署名	囲み記事	輸出入統計所の發刊	10
06	1930/9/25	在コンスタンチノーブル駐在本商務書記官	資料	米國會社のトルコに於けるマッチ專賣權獲得	11-13

06	1930/9/25	コンスタンチノーブル日本商品館	資料	マニラ麻紐の需要と日本製品の引合	13-15
06	1930/9/25	コンスタンチノーブル日本商品館	資料	トルコに於ける輸入業者に関する参考調(其二)	16-21
06	1930/9/25	在テヘラン三橋貿易通信員	資料	彼斯婦人のチャードルと特殊絹織物の需要状況	22-25
06	1930/9/25	在ギリシヤ松島臨時代理公使	資料	サロニカ港自由地域概況(一九二九年)	25-26
06	1930/9/25	無署名	資料	土古國輸入關稅率表(其五) ママ	26-32
06	1930/9/25	無署名	資料	輸出補償法ニ依り補償契約ヲ為シタル銀行及補償契約ノ種類(商工省告示二件)	32-33
06	1930/9/25	無署名	取引	コンスタンチノーブル日本商品館仲介取引	34-35
06	1930/9/25	無署名	彙報	コンスタンチノーブル日本商品館取扱依頼事項	36
06	1930/9/25	コンスタンチノーブル日本商品館	彙報	土國對外貿易(一九三〇年度第一期)	36-37
06	1930/9/25	コンスタンチノーブル日本商品館	彙報	日本製繪蓆の土耳其に於ける進出状況	37-40
06	1930/9/25	コンスタンチノーブル日本商品館	彙報	近東貿易を危懼する我國業者に對する注意と君府日本商品館信用調査機關の利用	40-42
06	1930/9/25	コンスタンチノーブル日本商品館	彙報	土耳其向け商品見本を鐵路或は海路郵送するに當たり特に注意を要する事項	42-45
07	1930/10/25	無署名	口絵写真	第五回サロニカ國際見本市會場正門	口絵
07	1930/10/25	無署名	口絵写真	第五回サロニカ國際見本市會場全景	口絵
07	1930/10/25	無署名	口絵写真	第五回サロニカ國際見本市會開場式後日本館來訪の諸名士, 第五回サロニカ國際見本市會開場當日の日本館	口絵
07	1930/10/25	無署名	口絵写真	第五回サロニカ國際見本市日本館陳列ノ一部	口絵
07	1930/10/25	無署名	時事	第五回サロニカ國際見本市會開場式後日本館來訪の諸名士	1
07	1930/10/25	無署名	時事	君府イクタム記者の來訪	1
07	1930/10/25	無署名	時事	石井本會理事の計	1-2
07	1930/10/25	無署名	囲み記事	終身大統領に推されたケマル・パシヤ「予に對する侮辱」と反對を聲明	2

07	1930/10/25	無署名		資料	世界的經濟不況のギリシア海運界に及せる影響	3-5
07	1930/10/25	無署名		資料	土耳古國輸入關稅率表(其七)	5-17
07	1930/10/25	在ギリシヤ松島臨時代理公使		資料	絲織及布帛類生産並輸出状況(ギリシヤ)『一九二五年』	17-19
07	1930/10/25	無署名		取引	コンスタンチノーブル日本商品館仲介取引	20
07	1930/10/25	無署名		彙報	サロニコカ國際見本市日本館に關するサロニコカ市・プログレ新聞記事數件	21-24
07	1930/10/25	無署名		彙報	サロニコカ見本市視察の長谷川主事來信	24
07	1930/10/25	通商局		彙報	パルシアに於ける航空交通及主要都市間距離並自動車運賃一覧	25-28
07	1930/10/25	在ポーツイトサイト角野總領事事務代理		彙報	パレスタイン貿易状況(一九二九年)	28-32
07	1930/10/25	在ポーツイトサイト帝國領事館		彙報	パレスタイン外國貿易統計(一九三〇年一月~三月)	32-34
07	1930/10/25	無署名		彙報	バルカン、近東、沿海航路運賃發着表	34-37
07	1930/10/25	在トルコ本商務書記官		彙報	日本對トルコ貿易	37
08	1930/11/25	無署名		口絵写真	第五回サロニコカ國際見本市會場夜景、サロニコカ市海岸通	口絵
08	1930/11/25	無署名		口絵写真	第五回サロニコカ國際見本市日本館陳列の一部	口絵
08	1930/11/25	無署名		時事	全國商品陳列所長協議會	1
08	1930/11/25	無署名		時事	山田理事長一行の動靜	1
08	1930/11/25	無署名		資料	彼斯の交通概況	2-9
08	1930/11/25	コンスタンチノーブル日本商品館		資料	一九二八年度一九二九年度一九三〇年度日本對土耳其古輸出額	10-40
08	1930/11/25	無署名		資料	土耳古國輸入關稅率表(其八)	41-50
08	1930/11/25	無署名		資料	コンスタンチノーブルがスタンプと改稱せられるまで	51-52
08	1930/11/25	無署名		取引	邦品取扱希望者 トルコ、ブルガリア、ユウゴスラフ及ギリシア國	52-55
08	1930/11/25	無署名		彙報	コンスタンチノーブル日本商品館出品者名及出品物品目表(其三)	56
08	1930/11/25	無署名		彙報	近東貿易に就て	57-59

09	1930/12/25	無署名		口絵写真	エ號司令官オスマン・パシヤの肖像, 右山田理事長・左マホメツト・アリベー, 右ヨリ, オスマン・パシヤ礼状, 山田理事長, 令孫二人 (寫真説明記事参照)	口絵
09	1930/12/25	無署名		口絵写真	土耳其共和国記念塔, アナトリヤに於けるカーベツト製造 (家庭内に於けるもの)	口絵
09	1930/12/25	無署名		時事	山田理事長一行の歸朝	1
09	1930/12/25	無署名		時事	山田, 長谷川兩氏視察報告會	1
09	1930/12/25	無署名		時事	希臘陶器關稅引下	1-3
09	1930/12/25	無署名		時事	四十一年前紀州で沈没したオスマンパシヤ施設の遺族と會見せし山田理事長	3
09	1930/12/25	長谷川益二		資料	サロニカ見本市概況	4-13
09	1930/12/25	ハンブルグ日本總領事		資料	ドイツ纖維工業製品のバルカン輸出状況	14
09	1930/12/25	在ギリシヤ松島臨時代理公使		資料	ギリシア税關生産地證明書	14-23
09	1930/12/25	在テハララン三橋貿易通信員		資料	彼斯經濟状況 (九月中及十月上旬)	24-25
09	1930/12/25	無署名		資料	土耳其國輸入關稅率表 (其八最終) ママ	26-41
09	1930/12/25	コンスタンチノーブル日本商品館		取引	土耳其に於ける日本商品輸入希望商	42
09	1930/12/25	コンスタンチノーブル日本商品館		取引	邦品取引希望者	43
09	1930/12/25	無署名		彙報	近東貿易に就て (其二)	44-46
09	1930/12/25	無署名		彙報	スタンブールに於ける大阪輸出協會見本展示會	46-47
10	1931/1/25	無署名		口絵写真	スタンブール市の公園 (羅馬時代競馬場跡, 左に見ゆるはセントソフィヤ寺院), 土耳其現首府アンゴラ市遠望	口絵
10	1931/1/25	稲畑勝太郎			年頭所感	1-3
10	1931/1/25	無署名		時事	高松宮殿下君府御着	4
10	1931/1/25	無署名		時事	名古屋に於けるバルカン貿易懇談會	4
10	1931/1/25	無署名		時事	大阪輸出協會旅商班の歸阪	4

10	1931/1/25	山田寅次郎	山田寅次郎	資料	土中古商況視察談	5-15
10	1931/1/25	在トルコ二併薩時代理大使	在トルコ二併薩時代理大使	資料	棉花栽培状況 (ブルガリア)	15-18
10	1931/1/25	コンスタンチノーブル日本商品館	コンスタンチノーブル日本商品館	資料	土耳其産オリーブ油の状況	18-27
10	1931/1/25	コンスタンチノーブル日本商品館	コンスタンチノーブル日本商品館	資料	君府市場に於ける刷子取引状況	28-34
10	1931/1/25	無署名	無署名	資料	希臘國輸入關稅率に就て	34
10	1931/1/25	無署名	無署名	資料	希臘國輸入關稅率規定	34-42
10	1931/1/25	コンスタンチノーブル日本商品館	コンスタンチノーブル日本商品館	資料	昭和五年上半期土耳其、シリア、ギリシヤ及ブルガリヤの爲替相場月別表	42
10	1931/1/25	MH生 (=長谷川益二か?)	MH生 (=長谷川益二か?)	漫筆	スタンブール印象記 (一)	43-47
10	1931/1/25	無署名	無署名	囲み記事	近東航路日本郵船會社運賃表 (大阪頭積込本船運賃)	47
10	1931/1/25	在ギリシヤ川島特命全權公使	在ギリシヤ川島特命全權公使	彙報	本邦輸出補償制度と希臘との取引事情	48-51
10	1931/1/25	コンスタンチノーブル日本商品館	コンスタンチノーブル日本商品館	彙報	一九三〇年八月九月土耳其對外貿易額	51-57
10	1931/1/25	コンスタンチノーブル日本商品館	コンスタンチノーブル日本商品館	彙報	第五回サロニカ國際見本市報告	57-68
10	1931/1/25	無署名	無署名	彙報	近東貿易に就て (其三)	68-71
11	1931/2/25	無署名	無署名	口絵写真	首府アングラニ於ケル吉田大使主催晩餐會 (ホテルアンカラパレス)	口絵
11	1931/2/25	無署名	無署名	口絵写真	大統領ケマルパシヤ主催高松宮殿下歓迎晩餐會、君府商品館ニ於ケル高松宮殿下全妃殿下左端安江商品館長	口絵
11	1931/2/25	無署名	無署名	口絵写真	高松宮殿下全妃殿下セリセフェイン埠頭御上陸君府市長兼知事ムヒツティンペー氏花束ヲ獻上ス、御款迎申上ケル在留邦人	口絵
11	1931/2/25	コンスタンチノーブル日本商品館	コンスタンチノーブル日本商品館		高松宮殿下君府御到着より御出發迄の御状況	1-12
11	1931/2/25	無署名	無署名	囲み記事	名古屋に於けるバルカン貿易講演會	12
11	1931/2/25	コンスタンチノーブル日本商品館	コンスタンチノーブル日本商品館	資料	君府市場に於ける各種電球取引状況	13-23
11	1931/2/25	在アテラハン三橋貿易通信員	在アテラハン三橋貿易通信員	資料	波斯商況 (十一月及十二月)	24-28
11	1931/2/25	在トルコ本商務書記官	在トルコ本商務書記官	資料	ブルガリア國外國貨幣及外國爲替の取引制限規定	28-29

11	1931/2/25	無署名	資料	希臘國輸入關稅率表(其一)	30-36
11	1931/2/25	MH生(=長谷川益二か?)	漫筆	スタンブール印象記(二)	37-41
11	1931/2/25	無署名	囲み記事	商工視察員のバルカン諸邦派遣	41
11	1931/2/25	無署名	取引	コンスタンチノーブル日本商品館仲介取引(自昭和五年十一月至六年一月)	42
11	1931/2/25	コンスタンチノーブル日本商品館	彙報	一九三〇年十月土耳其古對外貿易額	43-47
11	1931/2/25	アレキサンドリア横山總領事	彙報	シリアの經濟的發展	48-49
11	1931/2/25	無署名	彙報	近東貿易に就て(其四)	50-52
11	1931/2/25	コンスタンチノーブル日本商品館	資料	土耳其市場に需要あるキヤンバスシユースの狀況と輸出に關する注意	53-54
11	1931/2/25	無署名	資料	コンスタンチノーブル日本商品館取扱依頼事項	54
12	1931/3/25	無署名	口絵写真	スタンブール市外プリンキボ島の風景, 全上遊園林	口絵
12	1931/3/25	無署名	口絵写真	土耳其産の葡萄賣り, 土耳其農民風俗	口絵
12	1931/3/25	無署名	時事	本會役員の改選	1
12	1931/3/25	無署名	時事	輸出品包裝改善及貿易懇談會	1
12	1931/3/25	コンスタンチノーブル日本商品館	資料	土耳其輸入々市税, 消費税に就て	2-13
12	1931/3/25	在ギリシア川島特命全權公使	資料	ギリシア國對外貿易政策	13-14
12	1931/3/25	MH生(=長谷川益二か?)	漫筆	スタンブール印象記(三)	15-19
12	1931/3/25	無署名	取引	コンスタンチノーブル日本商品館仲介取引(自昭和六年一月至全年三月)	20
12	1931/3/25	在トルコ帝國商務書記官	取引	本邦品輸入希望者並外國爲替取引銀行(ブルガリア)	20-23
12	1931/3/25	コンスタンチノーブル日本商品館	彙報	一九三〇年十一月土耳其古對外貿易額	24-28
12	1931/3/25	君府日本商品館	彙報	昭和五年下半年土耳其古, シリヤ, ギリシヤ及ブルガリヤの爲替相場月別	28-29
12	1931/3/25	無署名	彙報	原産地證明書製作に關する注意	29
12	1931/3/25	無署名	彙報	近東貿易に就て(其五)	30-32
12	1931/3/25	無署名	彙報	日本研究熱盛んな最近の近東諸國	32

13	1931/4/25	無署名		口絵写真	スタンプブル名物の一たるグラウンドバザール(大口市)の骨董屋の内部	口絵
13	1931/4/25	無署名		口絵写真	スタンプブルセルセイユ岬	口絵
13	1931/4/25	無署名		時事	第五回サロニカ国際見本市出品参加記念牌の授典	1
13	1931/4/25	無署名		時事	三重縣商品陳列所主催全國物産聯合大會	1
13	1931/4/25	無署名		時事	大阪商工視察員の近東諸邦派遣	1
13	1931/4/25	コンスタンチノープル日本商品館		資料	土耳其に於ける我國製編三綾の現況と其の將來の進路	2-20
13	1931/4/25	在トルコ本商務書記官		資料	綿絲布需要状況(ブルガリア國)	20-32
13	1931/4/25	在アレキサンドリヤ横山總領事		資料	ギリシア及ブルガリアの葉煙草業	33-36
13	1931/4/25	無署名		資料	希臘國輸入關稅率表(其二)	36-43
13	1931/4/25	在テハララン三橋貿易通信員		資料	一九二九-三〇年彼斯貿易状況(其一)	44-51
13	1931/4/25	在テハララン三橋貿易通信員		資料	一九二九-三〇年彼斯貿易状況(其二)	51-57
13	1931/4/25	在テハララン三橋貿易通信員		資料	一九二九-三〇年彼斯貿易状況(其三)	58-64
13	1931/4/25	在テハララン三橋貿易通信員		資料	彼斯市場へのオフアアーに就て	64-67
13	1931/4/25	在ペルシア笠間時命全權公使		資料	ペルシアの外國貿易國營法案議會通過	67-68
13	1931/4/25	在テハララン三橋貿易通信員		資料	彼斯に需要せらるる々綿絲	68-70
13	1931/4/25	無署名		冊み記事	希臘, 川島公使より來信	70
14	1931/5/25	無署名		口絵写真	四度大統領二選挙セラレタルケマル・パシヤ, 土耳其國會議院正面玄関	口絵
14	1931/5/25	無署名		口絵写真	第五回サロニカ国際見本市特別大賞牌及賞状	口絵
14	1931/5/25	無署名		口絵	本會へ大金牌贈與	口絵
14	1931/5/25	無署名		時事	君府商品館々員のブルガリア, 及ルーマニア經濟調査派遣	1
14	1931/5/25	無署名		時事	土耳其市場に於けるロシア商品のダンピング傾向	1
14	1931/5/25	在テハララン三橋貿易通信員		資料	彼斯に於けるカンバス靴の需要状況	2-4
14	1931/5/25	無署名		資料	希臘國輸入關稅率表(其三)	5-13

14	1931/5/25	無署名		取引	コンスタンチノーブル日本商品館仲介取引 (自昭和六年三月至昭和六年四月)	14
14	1931/5/25	在テヘラン三橋貿易通信員		彙報	一九二九-三〇年彼斯貿易状況 (其四)	15-18
14	1931/5/25	在テヘラン三橋貿易通信員		彙報	彼ス克蘭貨幣の對外公定爲替相場變更	18-19
14	1931/5/25	在ミラン井上領事		彙報	バルカンに於けるイタリー一國の經濟的地位	19-22
14	1931/5/25	在トルコ本商務書記官		彙報	ブルガリア國經濟界一般状況 (一九三〇年度)	22-27
14	1931/5/25	無署名		彙報	近東貿易に就て (其六)	27-31
14	1931/5/25	無署名		彙報	ムスタファア, ケマルパシヤ評傳 (上)	31-33
15	1931/6/25	無署名		口絵写真	ボスフォラス海峡の一部	口絵
15	1931/6/25	無署名		時事	高松宮兩殿下の御歸朝	1
15	1931/6/25	無署名		時事	第五回サロニコカ國際見本市裏章に就て	1
15	1931/6/25	無署名		時事	イスメツトパシヤの施政演説	2-14
15	1931/6/25	コンスタンチノーブル日本商品館		資料	土耳其に於ける各種ゴム靴の需給状況と我國製品の進出に就て	15-47
15	1931/6/25	コンスタンチノーブル日本商品館		資料	土耳其對外貿易額 (自一九三〇年十二月至一九三一年二月)	47-57
15	1931/6/25	コンスタンチノーブル日本商品館		資料	土耳其に於ける未晒及び晒綿布に對する輸入税率適用法改正	58-63
15	1931/6/25	在土耳其吉田大使		資料	土耳其に於ける金銀製品輸出禁止令廢止	63
15	1931/6/25	無署名		資料	希臘國輸入關稅率表 (其四)	64-72
15	1931/6/25	無署名		囲み記事	日土貿易の近況に就て	72
15	1931/6/25	無署名		取引	コンスタンチノーブル日本商品館仲介取引 (自昭和六年四月至昭和六年五月)	73
15	1931/6/25	無署名		取引	毛絲取引希望	73
15	1931/6/25	在トルコ本商務書記官		彙報	ブルガリア國貿易並同國輸出入向本邦品の種類	74-87
15	1931/6/25	無署名		囲み記事	土耳古と長壽	87
15	1931/6/25	在ルーマニア藤田特命全權公使		彙報	ユーゴスラヴィア國に於けるアルミニウム原礦產出輸出状況	88-90

15	1931/6/25	在トルコ本商務書記官	彙報	イラク外國貿易概況(自一九二九年三月二十二日至一九三〇年二月二十一日)	91-92
15	1931/6/25	在トルコ本商務書記官	彙報	蕃薇油の産出及輸出状況(ブルガリア國)	94-97
15	1931/6/25	在ギリシアノ島特命全權公使	彙報	魚類及同罐詰輸入状況並關稅率(ギリシア)	97-100
15	1931/6/25	無署名	彙報	輸出補償法の施行状況	100-105
15	1931/6/25	無署名	彙報	コンスタンチノープル日本商品館出品者名及出品物品目表(其四)	105
15	1931/6/25	コンスタンチノープル日本商品館	彙報	土耳其との取引に付て特に營業者に注意を促す	106-107
15	1931/6/25	無署名	彙報	近東貿易に就て(其七)	107-109
15	1931/6/25	在ルーマニア藤田特命全權公使	閉み記事	ルーマニア國の高利取締法公布	109
16	1931/7/25	無署名	口絵写真	行列を見物する土耳其婦人, 土耳其學生のポーズカウト	口絵
16	1931/7/25	コンスタンチノープル日本商品館	時事	土耳其に於ける最近經濟界の趨勢と日土貿易の現状に就て(自昭和六年四月至同五月)	1-2
16	1931/7/25	コンスタンチノープル日本商品館	時事	土耳其に於ける英國商工業視察團	2-4
16	1931/7/25	無署名	閉み記事	駐支トルコ公使フアツドベイ氏の來朝	4
16	1931/7/25	コンスタンチノープル日本商品館	資料	鐵板並に亞鉛鐵板の有望なる土耳其市場	5-15
16	1931/7/25	コンスタンチノープル日本商品館	資料	ソビエト露國製綿布の土耳其躍進の影響	15-23
16	1931/7/25	在トルコ吉田特命全權大使	資料	トルコに於けるソヴイエト聯邦のダンピング問題	23-26
16	1931/7/25	コンスタンチノープル日本商品館	資料	護謨靴及護謨底キヤンバス靴の土耳其古輸入稅改正運動詳報	26-30
16	1931/7/25	コンスタンチノープル日本商品館	資料	我國製綿三綾に對する伊太利の對抗策に關する情報	30-31
16	1931/7/25	コンスタンチノープル日本商品館	資料	土耳其に於ける我國製貝釦と到國製ガラス釦との競争状況	32-48
16	1931/7/25	コンスタンチノープル日本商品館	資料	土耳其に輸出見込ある我國製絹織物	48-58
16	1931/7/25	無署名	資料	希臘國輸入關稅率表(其五)	59-65
16	1931/7/25	無署名	閉み記事	土耳其古稅定率表の發刊	65

16	1931/7/25	無署名	取引	コンスタンチノーブル日本商品館仲介取引 (自昭和六年五月下旬至昭和六年七月上旬)	66
16	1931/7/25	在ルーマニア帝國公使館	取引	鹽魚, 魚油等取引希望者 (ガラツ)	66
16	1931/7/25	コンスタンチノーブル日本商品館	取引	土耳其に於ては我國製糖手類好評と共に鐵, 鋼パイプ類の輸入をも希望	67
16	1931/7/25	コンスタンチノーブル日本商品館	彙報	一九三一年三月土耳其對外貿易月報	68-71
16	1931/7/25	在トルコ本商務書記官	彙報	トルコ對日貿易 (一九三〇年下半期)	71-72
16	1931/7/25	在ギリシアア川島特命全權公使	彙報	ギリシア國ビレ港貿易狀況 (一九三〇年)	72-75
16	1931/7/25	在ギリシアア川島特命全權公使	彙報	サロニカ港自由地域の貨物輸出入狀況 (一九三〇年)	75-77
16	1931/7/25	在ギリシアア川島特命全權公使	彙報	ギリシアに於ける保險業狀況	78-79
16	1931/7/25	在土耳其本商務書記官	彙報	土希兩國間の協定稅率	79
16	1931/7/25	ベルシア笠間特命全權公使	彙報	ベルシア國貿易年報告 (一九二九-三〇年)	80-96
16	1931/7/25	在ギリシアア川島特命全權公使	彙報	ギリシア外國貿易狀況 (一九三〇年)	96-100
16	1931/7/25	在テヘラン三橋貿易通信員	彙報	彼斯の外國貿易政府專管法律の施行細則に關する規定書	100-109
16	1931/7/25	在テヘラン三橋貿易通信員	彙報	最近の彼斯經濟狀況	110-114
16	1931/7/25	在テヘラン三橋貿易通信員	彙報	外國貿易政府專管に關する法律施行第一月の彼斯國輸出入統計	115
16	1931/7/25	在トルコ本商務書記官	彙報	普通電球需要狀況 (ブルガリア)	115-116
16	1931/7/25	在ボンベイ佐藤領事	彙報	イラーク國輸入綿布關稅公定評價格改正	117
16	1931/7/25	在孟買佐藤領事	彙報	イラーク國輸入絹布關稅公定評價格改正	117-118
16	1931/7/25	在アレキサンドリア横山總領事	彙報	本邦と近東諸國との運輸連絡	118-119
16	1931/7/25	無署名	彙報	ムスタファ, ケマルパシヤ評傳 (中)	119-121
16	1931/7/25	在ギリシアア川島特命全權公使	彙報	ギリシヤに於ける商標登録の要	122
16	1931/7/25	トルコ本商務書記官	彙報	ブルガリア國輸入手續上の注意事項	122-123
16	1931/7/25	在ルーマニア藤田特命全權公使	彙報	ユーゴスラヴィア國貿易年報 (一九三〇年)	123-126

(未完・この項続く)